

衆議院議員
森田としかず ニュースレター

MORIMORIPRESS

October
10
総集編

モリモリプレス

TEL.048-530-6001
www.morita-toshikazu.com

森田としかず事務所 (通称:モリモリオフィス)
〒360-0831 熊谷市久保島1003-2
平日 9:00~17:00 (土・日・祝日はお休み)
FAX.048-530-6002

国会事務所
〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第二議員会館1003号室
TEL.03-3508-7419 FAX.03-3508-3899

Eメール mmo@morita-toshikazu.com [mori_morita](https://twitter.com/mori_morita) [森田俊和](https://www.facebook.com/moritamorita) [森田としかず](https://www.instagram.com/moritamorita) 検索



今よりも、もっと幸せな日本へ向かって 森田は動く!

政治の究極の目的は、国民の皆様を幸せにすることです。では、幸せとは一体何でしょうか?どうなれば、私たちは幸せになれるのでしょうか?

極論を言えば「人それぞれ」ということになりますが、大まかな傾向は幸福心理学の研究により、わかってきています。それは、自分の力を誰かのために生かし、それによって感謝されることで、幸せを感じるということです。また、意義ある目標を掲げ、そこに向かって努力し、目標を達成した時、私たちは充足感、満足感を得て、幸せを感じるができます。

日本はもっと幸せな国となる可能性があり、また、だからこそ発展する見込みがあります。私たちは勤勉な国民性を持っており、いざとなると一所懸命にやります。しかし、今いろいろな矛盾があり、停滞しているのは、どこに向かうべきか明確になっていないからです。逆に言えば、私たちが目的、目標を設定し、そこに向けて進めば、未来を切り拓くことができます。

親から、あるいは周りの大人から「こうしなさい」と

言われてやっていることは、途中まで上手くいっていても、そのうち限界が来ます。そして、その線路を敷いた人の意に沿わないことをしてしまうと、叱られたり、集団から排除されたりします。今の日本には窮屈な思いをしている人がたくさんいます。

こうした状況を打破するためには、自ら考え行動することを応援する社会にしていく必要があります。家庭、地域、学校、職場を含めた教育の改革が必要です。少人数による学習を中心に据えて、一人ひとりの特性を理解し、育てていく必要があります。何かに秀でていれば、そこから新しいサービスや製品が生み出されます。その人その人の力を伸ばすことが、ひいては日本経済の多様性を育み、付加価値や競争力を高めることとなります。

主体的に動く人が増えれば、幸せな人が増え、ひいては国全体としても幸せになり、発展することができます。今よりも、もっと幸せな国を、私たちの力を持ち寄ることによって、創ってまいりましょう!

衆議院議員 **森田俊和**



再び成長する国へ



- 新しい生産設備、ICTの導入を積極支援
生産性の向上による継続的な賃上げを実現
- AI、ロボットの研究開発・導入支援
人手不足の中、人手に頼る分野を思い切って自動化、人口減少を産業発展の好機へ

人生100年時代の備え



- 年金の物価リンク制 物価高への備えを充実
- 予防医療の推進
尿検査やスマートウォッチからのデータ活用
- 自動運転タクシーの早期導入
地方の「足」の確保、交通事故0へ!

教育は未来を創る



- 主体性を育む教育
少人数グループ学習を中心に
- 給食の無償化
親の負担をなくし、食生活の柱を提供
- 高等教育の無償化
お金で進学をあきらめることがないように

子育て支援



- 妊娠・出産の費用完全無償化
お金のことを心配せずに赤ちゃんを迎えられるように
- 男女とも3歳まで育休を取れる制度の拡充
休暇中の手当の拡充と、中小企業への人材補充への支援

続けられる農業



- 収入補償制度の導入
農地の管理費として定額支給、荒れ地をなくすことは地域の環境保全、防災にも寄与
- 農産物輸出の促進
日本食だけでなく、現地の料理で食べられる食材の生産も



令和4年12月 本会議



令和5年5月 地域・子ども・デジタル特別委員会 河野内閣府大臣



令和6年2月 予算委員会

盛山文科大臣



令和6年5月 環境委員会

伊藤環境大臣

皆様のお声を国政へ! 7年間の任期中 国会にて計88回登壇!

これまで任期の通算で本会議、委員会にて計88回登壇しました(本会議5回、委員会83回、2024年10月現在)。皆様からのお声を国政に伝え、皆様のご意見、ご要望に沿った政治を実現することが、私の最も大切な仕事だと考えています。国会で質問する際には、徹底した草の根主義で、地域を歩き、皆様から伺ったご意見を、関係閣僚や政府関係者に直接お伝えしてきました。これからも、皆様のお声を国政に伝えてまいります! 尚、質問の様子は下記、衆議院のホームページからご覧いただけます。



<http://www.shugiintv.go.jp/jp/index.php>

埼玉12区(熊谷・行田・羽生・加須)の未来像

埼玉県720万人、群馬県200万人、栃木県200万人の人口を擁する北関東経済圏の中心に位置するのが私たちの地域です。豊かな自然と首都圏の大消費地に近いという立地を生かし、これからも大いに発展していく余地があります。これからも地域の皆様のお声を丁寧に向い、地域の資産や特性を生かし、地域発展のために活動してまいります!

しゅんせつ 浚渫により河川の防災対策を強化

「中州ができて、木が茂ってしまっている」というご心配の声をしばしば伺います。利根川、荒川などの大川を中心に河床の浚渫を行うことで、増水時にも円滑に水が流れるよう防災対策を進めます。



地域の「足」の確保

免許を返納する方が増えています。こうした皆様の日常の「足」を確保することが急務です。コミュニティーバスやオンデマンドタクシー、近い将来は自動運転タクシーなど、特に高齢の方の移動手段を確保し、いつまでも暮らしやすい地域を目指します。



聖天様のご縁を生かし、埼玉三偉人、荻野吟子のふるさととして県北観光ルートの拠点として活性化します!



スポーツ文化公園周辺地域を商工業含めて一体的に開発。連接・自動運転バスの導入、将来はLRTの新設により、駅とのアクセス充実を図り、日常的に人々が集い、行き交う地域を目指します!



斉藤別当実盛の出身地、越前の国に直通する北陸新幹線の熊谷駅停車を目指します!令和元年に臨時停車した実績を生かします!



駅舎の建て替え、周辺も含めた再開発で、商業施設、行政機能、マンション、高齢者施設等により、市街地の再生を目指します!



17号バイパス上尾道路全通、首都高の桶川以北延伸により、産業立地としての価値を高めます!



現代のものづくり大学や歴史的な藩校「進修館」、忍高女などの知的蓄積を生かし、繊維をはじめとする新しい産業の拠点を目指します!



さきたま古墳、足袋蔵など、歴史的、伝統的資産を生かした観光拠点として活性化します!



藍染を含めた、伝統的、現代的、両面での付加価値の高い繊維産業を支援します!



渡良瀬遊水地周辺を親水観光と防災観測拠点として整備



東武線直通運転の延伸により、「住みたい地域」としての魅力アップ!



コシヒカリ、トマト、イチゴ、イチジク、養豚など、農業のトップブランドに磨きをかけ、稼げる農業のモデルに!



東北道、122号、125号を生かし、流通をはじめとする商工業の拠点を目指します!

駅頭・街頭活動 通算850回!

皆様からいただいたご支援にお応えすべく、定期的に国会や地域での活動についてご報告してきました。これからも駅頭や街頭など、皆様の身近なところにお伺いします!



慰霊訪問

本年9月には、フィリピン・ルソン島、カリラヤを訪ねました。「シベリア抑留」で亡くなった私の大祖父が亡くなったウファ(ロシア)を訪ねたことから始めた毎年の慰霊訪問では、インパール、ペリリュー島、ガダルカナル島などを訪ねています。国政に関わる者として、戦没者の皆様に心から哀悼の誠を捧げつつ、その思いを外交防衛政策の根幹に据えてまいります。



座談会・コンサートの開催

直接皆様からのお声を聴くことが、民主主義の基本です。座談会での意見交換、歌を交えて私の思いをお伝えするコンサートも行っております。数人~開催します。ぜひお声がけください!



皆様と共に汗をかく...! ~ボランティア活動・諸行事への参加~

地域の皆様のお声は、いざ聴こうと思ってもなかなか聴けないものです。地域の中で、皆様と一緒に作業する中で、チラチラと皆様の本音が聴けることがあります。そうして聴いた諸々のことが、私の政策の大きな柱となっています。これからも、皆様と共に汗をかき、お声を聴き、皆様のお声を国政に伝えてまいります!



LINE公式アカウントへのご登録をお願いします!

ラインで国会質疑や地元行事の情報など、直接お伝えさせていただきます!



@mori_morita

森田としかずプロフィール

昭和49年9月熊谷市久保島生まれ
広瀬保育園、熊谷市立玉井小・中学校、熊谷高校、早稲田大学政経学部、カナダ・マギール大学留学、早稲田大学大学院博士課程を経て、28歳で県議選初挑戦(23票差で次点)、県議2期を務めた後、
平成24年衆院選(55,663票で次点)
平成26年衆院選(57,299票で次点)
平成29年衆院選(86,007票で初当選)
令和3年衆院選102,627票にて2期目当選)
幼少期
共働き両親の下、おばあちゃん子として育つ。農協、養蚕連にお世話になった亡き祖父の面影があったのか、農協の支店に行くこと、「ミニ組合長」と呼ばれる。保育園年少で、登園拒否を経験。無理に登園するも「おばあちゃんの植木

お手伝いをしないと!と訴え、帰宅。
小・中学校
体育が苦手だが、長距離走に活路を見出す。6年生で運動会の入場行進で校旗を持ったことで、学校行事への貢献に目覚める。中学の生徒会長選挙で落選するも、生徒会役員として文化祭等に関わる。卒業式では昇降口の屋根に登り、サプライズの学年合唱を指揮。
高校・大学
高校では40kmハイクは毎年走る。男声合唱の音楽部ではバリトンに所属。大学のテニスサークルで妻と出会う。長期休暇は海外への貧乏旅行。初めての海外一人旅でホームシックにかかる。国内での自転車旅行、渋谷ハチ公前から歩いて富士山へ登ったことも。

大学院~政治の道へ
大学3年の時に石田教授(義弟が元三重県知事の北川正恭氏)と出会い、そのご縁で大学院へ。予備校講師をしながら博士課程に進むも、カナダ・モントリオールへの留学を経て、学問よりも実践に魅力を感じるようになり、教授の勧めもあって政治の道へ。
県議~国政へ
大学院に籍を置きながら臨んだ県議選初戦に23票差で落選。浪人中に訪問介護事業所を立ち上げる。2度目の挑戦で県議に当選。2期目の途中で辞職、元々望んでいた国政へ挑戦。2度の挑戦は次点、3度目も次点だったが492票差で比例の議席をいただく。

【趣味】幼少期の高崎線沿いカメラ小僧~鉄道旅行~海外旅行。留学時、日本のことを語れなかったショックから茶道のお稽古を始める。施設の行事ではものまねを披露。小学生から演歌カラオケ。
【日課】1日8000歩以上を目標に日常の中での歩き、または自転車。毎朝の洗濯、ゴミ分別~集積所へ、キッチン・洗面所の排水溝掃除、お風呂の鏡・壁面の拭き上げ。毎週1時間の「幸せ研修」に参加。
【家族】妻・3人娘・ネコ2匹(チャコみ・クルミ♀)

